

平成22年4月28日

各位

会社名 株式会社鳥羽洋行  
 代表者名 取締役社長 三浦直行  
 (JASDAQ・コード7472)  
 問合せ先 取締役管理本部長 松永健一  
 (TEL 03-3944-4031)

### 特別損失の計上及び平成22年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成22年3月期決算において、下記のとおり特別損失(減損損失)を計上する見込みとなりました。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成22年2月5日に公表しました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 減損損失の内容及び計上金額

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の所有する下記固定資産の将来キャッシュフローの見直しを行った結果、減損処理を行い減損損失を特別損失に計上することといたしました。

用途	種類	場所	減損損失の計上金額
営業所 (松本営業所)	土地 建物 工具、器具及び備品	長野県松本市	22百万円

#### 2. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	10,500	△250	△200	△250	△49.02
今回修正予想(B)	11,438	△28	43	△36	△7.14
増減額(B-A)	938	222	243	214	—
増減率(%)	8.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	19,489	1,025	1,130	643	125.05

### 3. 業績予想修正の理由

当期におけるわが国経済は、一昨年秋の金融危機に起因する世界同時不況による最悪期は脱しつつあるものの、依然回復のスピードは緩やかであります。このような経済情勢は、当社の属する機械工具業界にも大きな影響を与え、多くの取引先における設備投資の需要は極端に冷え込みました。とりわけ、当社の主要な取引先は輸出依存度の高い半導体、デジタル家電、自動車・車載部品等の業界に属しており、今回の不況の影響をまともに受ける状況でありました。これらの主たる取引先は、厳しい環境に対応するためいち早く生産調整を開始したことにより、大幅な設備投資需要の減少状態が第3四半期の後半まで続きました。しかし、世界的な半導体需要の回復傾向や、政府の総合経済対策によるエコポイント制度の導入効果並びに新車購入時の減税効果等による個人消費需要の回復、及び当社が期初から取り組んでおりました取引先の拡大のための施策等の効果が表れ、第4四半期後半から売上高が回復傾向となるとともに、経費の削減効果等により利益面も回復したため、前回の予想より増収増益の見込みとなりました。

(注) 上記業績の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により記載の予想値とは異なる可能性があります。

以上